

2026.4.25 Sat. 11:00-20:00

Free 入場無料

第5回元住吉ミュージックフェスティバル

MMMF × なつねこちあき!

たくさんのアーティストが集い、ジャズ、クラシック、ロック、ポップスなどの楽曲が一日中、生演奏で聴けて楽しめる手作り音楽祭です。

於：川崎市国際交流センター・ホール
最寄駅：東急東横線・東急目黒線「元住吉駅」西口徒歩10分
場所：川崎市中原区木月紙園町2-2 TEL：044-435-7000

元住吉最大の音楽祭

主催 MFM実行委員会・音楽好きな友の会
後援 Moton Club
協賛 川崎区「音楽のまち・かわさき」推進協議会 / (公財)川崎市国際交流協会 / (公財)川崎市生涯学習財団 / (公財)かわさき市民活動センター / かわさきFM(79.1MHz) / (公財)現代人形劇センター / 人形劇団ひとみ座
協力 モトミ・プレメン通り商店街振興組合 / モトミ・オズ通り商店街振興組合 / 井田中 / 町屋音楽会 / 本月1日自明会 / 本月2日自明会 / 本月3日自明会 / 本月4日自明会 / 井田共和会第2期会 / 井田共和会第3期会 / 井田共和会第4期会 / ソウライがミュージックスクール / 豊島区ミュージックスクール / ムードトラス / 豊島区三ツツブキ音楽教室 / ウチタインテリアデザイン / 大塚電化サービス / 横浜・カンファ・ツリー / Mマガジンサガール各名

2025年4月現在

お問合せ：mmf.info@ontomo.jp

音楽好きな友の会 <https://ontomo.jp/>

MMMF 本番に向けての一言

いよいよ、MMFも本番に近づいてスタッフも準備に力が入ります。今回はねこつきバンドさんの協力や新しいスタッフの方も加わりワイワイとやっています。今回のステージに上がるミュージシャンの方々のみなさまの音は素晴らしく、来場された方は癒されて帰られることだと思います。音楽は心と身体を癒し、明日の活力がみなぎってきて、世界を平和にしてくれます！元住吉から音のパワーを日本に！世界へ！発信開始です〜フェス当日は1日楽しめますので、音楽が好きな方々、演奏も好きな方々、老若男女問わずお気軽に遊びに来てください。

第5回元住吉ミュージック・フェスティバル実行委員会



- 川崎市中原区
- 「音楽のまち・かわさき」推進協議会
- 公益財団法人 川崎市国際交流協会

2026
4
April

2026年4月号208回はお休みです。

音友レコード倶楽部
レコードコンサートのプログラムは「Light Music/軽音楽の集い」や「Jazz Date/ジャズの集い」を持ち寄りタイム持参レコード/CDを演奏し楽しむ集いで開催中



永瀬 晋(ながせすすむ):ギター奏者

「ブルースロックピン芸人」をキャッチコピーに、弾き語りとは思えない高度な楽器演奏と低音ボイスを駆使した弾き語りは一見の価値あり。ロック、ブルースを軸に様々なジャンルを織り交ぜた演奏スタイルがギター雑誌、その他メディアで称賛される。オーストラリアのMATON「メイトン」ギター使用アーティストとしてサイトに掲載。現在はソロ、サポートでの音楽活動のほか元住吉の音楽教室ソウリーヴ・ミュージックスクール代表も務める。Youtubeチャンネル5万人突破。

連載01 箏(こと)の織りなす風景 初めまして!

これから、箏のすてきな世界について連載させていただきます。初めに、箏という楽器を少し紹介します。箏は長さ約180cm、幅約30cm、桐の木で出来ており、弦が13本張ってあります。弦は、現在ではテロンやナイロンなどの合成繊維が多く使われていますが、音色を追求して昔ながらの絹糸を使う演奏家もいます。箏の種類は、十三弦箏が主流ですが、近年になって宮城道雄が「低音楽器の十七弦箏」を考案しました。その後、三十弦、二十弦、二十五弦などの箏も生まれています。私は三味線や十七弦箏も弾いたことがありますが、主に十三弦箏を幼少期から弾いてきました。箏との出会いは3歳のころで、近所に箏を習っている方がいて、それを知った音楽好きな母が習わせてくれました。物心つく前だったので、当時のことは全く覚えてい

ません。ご飯は食べるもの、お風呂は入るもの、箏は弾くもの、という感じで自然に生活の一部となっていました。また、箏は箏本体と弦の間に琴柱(ことじ)というものを立ててそれを動かして、弦一本一本の音程を決める、調弦(チューニング)が必要な楽器です。そういった特色のある楽器なので、音感をよくするために母がピアノも習わせてくれました。私が箏と向き合い、本腰を入れて練習し始めたのは高校2年生で流派の名取(准師範)の試験に合格したころです。箏の曲を弾いていると、桜の花びらや紅葉の葉がちらちらと舞っている幻想風景が見えるように感じました。弾いている楽器に別の景色が映し出されるという感じです。箏が描き出す新しい音楽の世界が見えるようになったのだと思います。四月は桜の季節ですね。お花見イベント

Kotoneko Chiaki
箏奏者 ことねこちあき

で箏演奏が聞ける機会も多い時期です。桜の花びらと箏の織りなす幻想風景を見に行ってみませんか。



ことねこちあき プロフィール
幼少より箏曲に親しみ、演奏楽器は伝統的な十三弦箏とアレンジしやすい十七弦の短い「奏音(かのん)」も最近ではオリジナル曲、オマージュ曲、カバー弾き語りなどの演奏も行っている。音楽とおはなしの会「風と子どもたち」主催。母の出身地、能登の被災地支援のためにできることがしたい、と活動中。

連載01 誰よりも練習嫌いだっ私がピアノの魅力に気づくまで... ピアノを始めた5歳から中学3年まで

母の勧めで5歳からピアノを始めました。少しだけ心に残っているのは、『トムとジェリー』がリストの「ハンガリー狂詩曲第2番」のピアノを弾く場面を見て「あんなふうに弾けるようになったらいいな」と思い、特に深く考えることもなく通い始め、幼い私は週1回10分練習。小学校2年生ぐらいから1人で通うようになり、時には友達について来てもらい、レッスン前後は公園等で夕方まで遊ぶという音大を目指す子のイメージとは、かけ離れた日々でした。今思えば、母も私が公園等で友達と遊べるのは子供の時だけと俯瞰的に捉えていて、寧ろ、友達と楽しく過ごしている事を喜ばしく思っているかのように感じていました。そんな私が初めて「ピアノを弾きたい」と強く思ったのは、小学5年生の運動会「ゴーゴー」の伴奏オーディションに挑戦したいと思い、初めて自分の意志で練習をしました。伴奏を任せてもらったときの嬉しさと高揚感を今でも鮮明に覚えています。

因みに小学校では女子数人しかいないサッカーチームで三ツ沢陸上競技場の大会に参加。中学では卓球部で身体を鍛え、小柄ですが体力には自信があります。中学校では合唱コンクールの伴奏を3年間務めさせてもらい、3年生で私達のクラスが優勝しグラプリを受賞しました。教師生活数十年でクラスが合唱コンクールで優勝した事がなく悲願だった担任の先生と優勝したらアイスをご馳走するという私達との約束をあるうことか本気にし、しかも高価なハーゲンダッツをクラス全員に下さり大変な失費。そのお金でお子さんに何か買ってあげられたのにと大人になって大変申し訳なく思っています。また小学校の時の本番演奏は音楽の先生で、練習だけで心残りだった卒業式では「旅立ちの日に」を伴奏をさせていただきました。気づけば、ピアノは私の中でかけがえのない存在になっていました。

Yamazaki Ayako
ピアニスト 山崎 綾子



山崎綾子 プロフィール
東京音楽大学大学院科目等履修生修了。太田彌生、(故)田中由生子、野中正、小林由佳各氏師事。(故)Vリヤード、M.カンディンスキー、小川典子、M.クルティエフ各氏受講。恩師中澤はるみ氏、鈴木豊氏、柴田美紀(声楽家・二期会ソプラノ会員)氏等共演。おれんじびあの教室、エルピアスクール日吉・元住吉、椿音楽教室等講師。



MMF当日は、国際交流センター「玄関前広場」でキッチンカーの出店販売も予定!

キッチンカーなどの出店利用が出来る事を知り、地域貢献地元の方々と創り上げる手作り音楽祭である「第5回元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF)」も9時間にわたる大音楽祭の為にこの玄関前広場で美味しい食事を提供して一緒に楽しんで貰おうと各種キッチンカーの出店販売を予定しキッチンカーの出店交渉を開始しています。

元住吉ミュージック・フェスティバル実行委員会



第159回ランチタイム・ロビーコンサート



出演:りかりみ(田中梨未 田中利佳) / ピアノ連弾

親子連弾デュオ「りかりみ」として、アウトリーコンサートやロビーコンサートに多数出演。

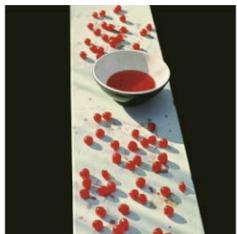
- 予定曲目
- ・久石譲:鳥の人
- ・葉加瀬太郎:情熱大陸
- ・三木たかし:アンパンマンマーチ
- ・宮川彬良:マツケンサンバII

- 日時:2026年4月16日(木曜日) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定
- 料金:無料
- 場所:川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団 総務室 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
ホームページ <https://kpal.or.jp/>

ポール・マッカートニーのビートルズ脱退、ソロアルバムの発売

現在でも不動の人気を誇るビートルズ。その人気絶頂期だったビートルズの仲に不況和音が生じ始めたのは、1960年代後半ごろのこと。マネージャーの死や、各々のソロ活動の活発化など、ビートルズ解散に至るにはさまざまな要因があったが、決定的だったのはジョン・レノンの脱退宣言と、それに伴う1970年4月10日、マッカートニーの脱退報道だった。(法的に解散が成立したのは1975年1月9日)その1週間後の4月17日に彼の初となるソロアルバム「McCartney」が発売されベストセラーとなった。これを機にビートルズは事実上の解散となった。このアルバムは全ての楽器をポール自身が演奏し、解散騒動の際に根強く支えた当時の妻・リンダもコーラス・制作に参加。当初は批判的な評価の多いアルバムだったが現在ではホームレコーディング/ローファイ(極端に高音質なものではない録音環境)の源流作品として圧倒的な再評価を受ける結果となった。



▲McCartney/Paul McCartney

Mマガジン表紙写真撮影ぼや帳

寒いですが...暖かいと思ったのに。春はまだ遠く多摩川堤防は寒いのです。しかし何よりモデルさんが寒いでしょう...今回モデルさんの永瀬氏、実は前号表紙では後ろ姿でしたが、

は正面でギターを持った姿は格好いい。永瀬氏のプロフにある、MATONのサイトでアーティスト写真拝見しました。とても素敵な写真でうらやましい。寒い中おつかれさまでした。



音友レコード倶楽部PR動画!
「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

常連の参加者との共同製作です。撮影・編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

連載20 オカリナに誘われて もっと自由に

Katonagi Emiko

オカリナ/クラリネット奏者 小棚木 恵美子

アドリブという即興演奏技術 以前には縁がないと思っていました。楽譜にアドリブという明記があると、豆譜で書かれているガイドを吹いて、ただただ難しいと諦めていた。でも、私はそこに踏み込むことが出来ました。FTJS!ジャムセッション講座主催の斎藤さん、現在私がアドリブを習っている190 Creative works 代表のシバさん、たまたま私の感覚に合っている先生に出会えたんだと思います。いわばラッキー 素敵な世界が広がっているのを体験しました。

今では、私のオカリナレッスンにもアドリブの練習を取り込んでいます。発表会の生徒たちの演奏にもアドリブを取り込みました。ドキドキしたけど楽しかったそんな言葉ももらっています。

同じ楽器の演奏なんですけど、楽譜を吹くのと、アドリブを演奏するのでは、演奏しながら考えることが違ってきま

す。楽譜をみて演奏していると、ついつい間違えちゃいけないという感覚になる。楽譜通り演奏できてたらよし間違えたらしょんぼりという感じ。アドリブ演奏では、次はどんな音にしよう リズムはこんな感じが良いかなとか 素敵なメロディーになってきたぞとか 生みの楽しさがあって音楽をまた違った感覚で楽しめます。アドリブ演奏はオカリナを体験しながらでも出来ちゃいます。楽しいですよ。

楽譜を再現する楽しさも素敵ですが、自分から生み出す音楽もある。歌を歌う方は、沢山オリジナルを作っている方がいますが、楽器演奏だとちょっと少ないですね。確かに演奏自体に大変さもあるのと、歌詞が載せられないので、伝えることがさらに難しくなる感じもします。でも、自分から音を生み出す楽しさも知ってもらいたい。そうすると、楽譜上の音楽に少しアレンジを入れたり出来て、より表現の幅が広がると思うからです。



小棚木恵美子プロフィール
洗足学園短期大学音楽科卒業。オカリナ講師。
【催事の予約受付 090-2436-5985 花】
◎毎月開催「オカリナカフェ」(オカリナ体験・レッスン)
●日時:第2・4週(水)、(金)
◎14:00 ◎14:40 ◎15:20
●会場:コーヒースポット「ライフ」
(武蔵中原駅近く)
◎2026「オカリナカフェイベント」
※申込要予約
●開催日時:4/8(水)、5/8(金)
●開演時間:14:00~16:00
●参加費:¥3,000(ケーキ・コーヒー付)

Instagramも是非のぞいてください
<https://www.instagram.com/emiko55395/>

Instagram
@emiko55395



▲オカリナカフェ

特別寄稿 Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談議/オーディオ談議

カセットテープの実力、侮るなかれ

Shiranita Kazuhiro

DJ担当 白仁田 一浩

アナログレコードが相変わらず人気を保っているが、これは単なる一過性のリバイバルではなく音楽文化の一部としての継続的なブームのようだ。そのレコードほどではないが、若い世代の間で人気が再燃しているのがカセットテープである。昭和の雰囲気やあえて手間をかけること、柔らかく丸みのある耳当たり良い音などが受け入れられているが、主たる目的は市販のミュージックテープを“聴く”ことにある。昭和の頃にはレコードと同じように幅広いジャンルのアルバムがカセットテープでも発売されていた。音友会メンバーの中にも当時の大量の市販ミュージックテープ(写真①)を大切に所有され、その同じ時代の往年のオーディオシステムで“当時の音”を再生して楽しんでいる方がいる。現在でもテイラー・スウィフト(写真②)など海外大物アーティストをはじめ多くのミュージシャンがアルバムをカセットテープでも発売していることはご存じの方も多いのではないだろうか。

一方、趣味としてのオーディオが全盛期であった1980年代前後のカセットテープは“録る”ことがメインであった。音の良いFM放送やレンタルレコード、友人から借りたCDなどをよく録音したものである。今はパソコンを使ってのCDのリッピングやアナログ音源の音質劣化無しデジタルアーカイブが可能だが、当時の最大のテーマは“いかに高音質で録音する

か”にあった。そんなカセットテープの音質について多くの方が抱くイメージは“そこそこの音”、“所詮デジタルにはかなわない”といった感じではないだろうか。しかし、カセットテープは想像を遥かに超える侮れない性能を持っているのである。その実力を100%引き出せるか否かは全てカセットデッキの性能にかかっている。それを痛いほど思い知らせてくれたのがカセットデッキの神メーカーともいえるナカミチだった。

実は当時TEACのオープンデッキ(写真③)が欲しかったのだが、経済的、スペース的にも無理があり諦めていた。そんな時に知人宅で聴いたLX-3(写真④)の音が衝撃的で、早速翌日にセカンドハンズ(現オーディオユニオンの中古店)を何箇所か巡り、CR-70(写真⑤)の中古品を発見。メンテナンス状態が良かったので購入しその後30年近く愛用していた。今の若い世代からは“カセットテープを聴くためにわざわざこんなものを?”という声が聞こえてきそうだが、これが趣味としてのオーディオならではの醍醐味だったのである。ナカミチの中でも最高性能に近いモデルだったので否が応でも期待が高まったが、初めてCR-70でCDから録音した時には耳を疑った。CDとテープの音の差が殆ど聞き分けられないのである。しかも使用したのは特に高性能なテープではなく音楽用の安価なノーマルテープ(写真⑥)

である。もはや“高音質”を超えてほぼ“原音そのもの”で、恐ろしいほどの録音・再生性能の完璧さに唖然とし心震えたのを覚えている。それからカセットオーディオに取りつかれたように録音コレクションが増えていった。欲しくても全部はとて買いきれない沢山のCDやレコードを次々レンタルして録音したり、FM放送の貴重な生放送番組をどンドン録音していた。筆者は既に手放してしまったが、現在でもナカミチのカセットデッキを大切に愛用されている方は多いようだ。おそらく最新のハイレゾ音源も殆ど原音と聴き分けられないほどの音で録音する性能を持っているはずである。機会に恵まれた方は、是非カセットテープの真の実力を体感していただきたい。



▲写真③ TEACオープンデッキ



▲写真① 市販ミュージックテープ



▲写真② テイラー・スウィフト



▲写真④ Nakamichi LX-3



▲写真⑤ Nakamichi CR70



▲写真⑥ SONY BHF ノーマルテープ

連載37 脱線ニューヨーク滞在記 思い出し寄り道編の寄り道 ニューオリンズ

Demura Katsuki

出村 克明

最近ゾンビと云う言葉がメディア等でもよく出てきます。このニューオリンズ編ではなり行きでゾンビの話を色々記し、前号ではこのゾンビと云う単語を世界で最初に記述したのが朝ドラ「ばけげけ」のヘン先生こと小泉八雲だったと云う事。これまで記したブドゥーやオカルティズムのなかの幻想或いは宗教的逸話など、ある種のロマンでもある奇怪現象的な話のゾンビでした。が、最近報道される多くは、それとは違い、違法ドラッグのファンタニルによるゾンビ状態の話、社会問題となっている昨今、特にアメリカでは今回行ったニューオリンズでもその姿を目にしました、路上での中毒者と見受けられる数人の群れや、一人だけでも、個々に聞いた訳ではないので分りませんが、そのような連中が特異な感じがしないのもアメリカの面白さでもあります。一度連中がたむろしている処にバトカーが止まっている事がありましたが、大した事ない風で直ぐに行っていました。一昨年行ったシアトルでも、スターバックスの1号店(本店)のあるバイク・ブレス・マーケット近くの観光客が行き来する路上で連中の溜まりが全米に広がっていると聞きます。



▲NHK朝ドラマ「ばけげけ」

これはホテルの窓から見下ろせた処の出来事ですが、いくつかのビニール袋とポロ着れを傍らに照り付ける太陽を顔にして横たえている路上生活者が見え、その傍を通りましたが薬中かは分りませんがゾンビの如くでした、ホテルを出る日、窓を見ると荷物も人も跡形も

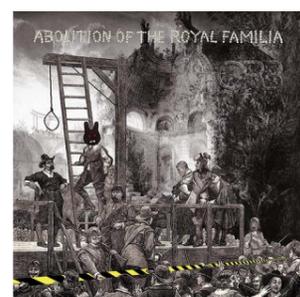
無く一瞬で消されたようで、薬やるのも死ぬのも自己責任的なものを感じるほどでした。現大統領トランプが就任直後にはこのファンタニルを大きな理由として移民問題や関税問題を表明しカナダ、メキシコに関税を50%、中国には100%の関税を予告しました(2/20連邦最高裁は相互関税を違憲と裁定)これはファンタニルの原料が中国からメキシコ、カナダに渡りファンタニルに生成されてアメリカに密輸されると云う事でメキシコからの移民は特に厳しくされ、今やミネソタではICE(移民捜査官)による銃殺事件も起きています。この現象で思い浮かぶのは186年前(1840年)に起きた英国と清とのアヘン戦争が、重なり合ってきます。アヘンその物はケシの実から採取され古代シメール文明の頃から鎮痛剤や宗教的儀式などに使われギリシャ時代、ローマ時代などを経てヨーロッパで医薬品としてアヘンからモルヒネ、ヘロインと開発されましたが依存性がある事で医療目的以外では非合法化が進みました。アヘン戦争は初め英国が当時植民地だったインドでアヘンを製造し、清に輸出していました。これによりアヘン中毒者が蔓延し或いは蔓延させられた事により輸出量が増え英国は巨額の富を得ていました。この状況を危惧した清はアヘンを全面禁輸し没収処分しましたがこれに英国は反発して戦争に、軍力差で英国が勝利し多くの賠償金や割譲など、1997年に中国へ返還された香港はこの戦争の終結条約で英国の植民地となり、加担した仏国、米国も権益を得ました。これによって清は大きく弱体化しその後の日清戦争にも負け分裂(色々あつて)各地で抗日戦争そして第二次世界大戦に入り結果戦勝国になり、毛沢東率いる中華人民共和国は国連の常任理事国にも、今日では一党優位体制が功を奏したのか経済力、軍事力

パーカッション奏者
コンセプチュアルアーティスト
空気、無を梱包して送るエメールアドレスを展開している。

など世界をアメリカと二分する大国になりロシア(旧ソ連)と入れ替わりアメリカとのシーソーゲーム。そんな中現在アメリカが躍起になっている移民問題、その背景にある合成麻薬ファンタニル。まるで前述した「アヘン戦争」の意趣返しの様で、清が西洋に騙されたというトラウマ。国名変わり大国になったと云へどその大地に踏み込んだ屈辱は怨念となり違う次元の『くわいだん』として「ばけげけ」に否や。

話を戻してファンタニルは化学物質を組み合わせた合成毒性物質(因みにハイチのフランソワ・デュバリエ大統領はフグ毒物質で反体制派をゾンビ化したとも云われている)で安価に製造されるのも蔓延の一因として日本を含め世界への広がりが危惧されています。核抑止かゾンビ抑止か、日本も彼の国には「脛(すね)に傷持つ身」くわばらくわばら

次号へ



▲The Ohb/Abolition of Royal Familia
※このLPはアヘン戦争の引き金となった東インド会社を英国王室が支持していた事に対する抗議をテーマに制作された1枚です。

特別寄稿 Conversations 音楽談議 マレーシア国立交響楽団

Nakagawa Yukihisa

チェリスト 中川 幸尚

タイに渡ってから長年王立バンコク交響楽団に所属していましたがその間にもアジア各国の様々なオーケストラに弾きに行きました。タイ国立交響楽団などのタイのオーケストラからマレーシアのマレーシア国立交響楽団やセランゴール交響楽団、インドネシアのヌサンタラ交響楽団、ベトナムのサイゴン・フルハーモニック、カンボジアのオペラ・オーケストラにマカオのマカオ管弦楽団などなど、タイに渡る以前にはグアムのオーケストラにも弾きに行きました。実は自腹で海外行った事がほぼ無いんです。各国のオーケストラもそれぞれ特徴があって面白かった。今回はその中からマレーシア国立交響楽団について書きます。このオーケストラには何度も弾きに行きました。団員は中華系やマレー系のマレーシア人の他、ウズベキスタン人や日本人も在籍してい

ました。首都のクアラルンプール(KL)にあるイスタナ・ブダヤというコンサートホールが本拠地で楽団のオフィスもリハーサルもその施設内でした。団員はいわゆる「公務員」です。クラシックからマレーシアのポップスまで色々ここで弾きました。こういった各国の公共施設の中に自由に出入りできたのはなんか楽しかった。リハーサル終了後はマレー系、中華系そして一緒に行ったタイ人達みんなで飲みに行き、時には団員の家に招待されたり、KL滞在中は連日パーティー状態でした。コンサートの次の日にはKLから少し離れた国の行政機関が集まる場所に連れて行かれてそこでギヤラをもらってそ

の後空港に行ってバンコクに帰る。というなんだか「即金でウハウハ」な仕事でした。KLは行った事のある都市の中でトップ3に好きな街なんです。ちなみに他2都市はバンコクとプリーユセル。で、実は本気でKLへの移住を考えた時期があり、誘いもあったのですがイスラムの国という事もあり酒税がすごく高く、アルコールが高いから。という理由で断念したんです(笑)



▲イスタナ・ブダヤ外観

連載95 Course: Addicted to Guitar 継続は力なり Youtube 5万人達成しました!

Nagase Susumu

ブルースロックピソ奏人 永瀬 晋

いつもお世話になっております。このところギター奏法のネタをご紹介していましたが、今回は趣向を変えてメンタル的なお話。コロナ過の頃から人知れずYoutube更新継続していましたが(チャンネル自体は16年目)先日ようやく5,6年がかりでチャンネル登録者数5万人突破いたしました。その他Mマガジンの練習も30年突破、音楽教室「Souleave Music School」も立ち上げから12年突破と色々継続しております。何事も積み重ねていけば様々な方々の素晴らしい出会いもあり、人生がとても楽しくなりますね。お金を稼ぐ事やスキルアップも継続することでしか生ま

れない領域が存在しますし、最近特に「継続は力なり」を痛感しております。というわけで永瀬晋の記事ですが今回で終了となりまして、次回よりブルースハープ&ギター奏者のGenさんとバントタッチさせて頂きます。音楽の記事は継続さ

れますので引き続き次回以降も楽しみいただけますと幸いです。永瀬自身は引き続き元住吉をウロウロしておりますので(笑)お気軽にお声かけくださいませ!長い間掲載させていただきましてありがとうございました!



Guitar Channel - Susumu
Nagase 永瀬 晋ブルースロック
ピソ奏人
50,004
チャンネル登録者数



ソウリーヴ・ミュージック・スクール
SouleaveMusic School
<http://souleave-music.com/>
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
レッスンは8:00~22:00開始迄、詳細は要連絡



♪掲載登録アーティスト募集中!!♪

全国のミュージシャン、および音楽活動に関わる人をネットワークし、そして演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動の後押し、が目的です。元住吉から世界に向けて配信しています。演奏者の方で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画も募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフも募集中)

